



ショートコメント

★★★★★

Data 2022-25

監督：ケネス・ブラナー
 原作：アガサ・クリスティ『ナイルに死す』
 出演：ケネス・ブラナー／ガル・ガドット／アーミー・ハマー／エマ・マッキー／トム・ペイトマン／レティーシャ・ライト

ナイル殺人事件

2022年／アメリカ・イギリス映画

配給：ウォルト・ディズニー・ジャパン／127分

2022 (令和4) 年3月5日鑑賞

TOHO シネマズ西宮 OS

みどころ

3月3日に亡くなった西村京太郎は、『十津川警部シリーズ』や日本を股にかけた“トラベルミステリー作家”として有名。しかし、世界を股にかけたアガサ・クリスティは、それ以上に有名だ。

オリエント急行の旅もナイル川下りの新婚旅行も興味深いが、なぜかここには謎の殺人事件が！それを解決する名探偵がポアロだが、さあ本作は？
こりゃ面白い！こりゃ必見！至福のひと時を本作で！

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

◆本作の鑑賞直後、『十津川警部シリーズ』などで有名な作家、西村京太郎氏が3月3日に91歳で死亡したとのニュースが流れた。彼は“トラベルミステリー”の第一人者で、新幹線からローカル線まで全国各地に張り巡らされた鉄道網が、彼の尽きない小説の源泉だった。私が思うに、彼の憧れの大先輩がイギリスのミステリー作家、アガサ・クリスティ（1890年～1976年）。『オリエント急行の殺人』『ナイルに死す』『そして誰もいなくなった』等のミステリーの名作は、彼の“模範”になっていたはずだ。

◆メチャ面白い彼女の小説が映画のネタになるのは当然。したがって、『オリエント急行の殺人』も『ナイルに死す』も再三映画化されているが、イギリスが誇るシェイクスピア俳優、ケネス・ブラナーは、まず『オリエント急行殺人事件』にエルキュール・ポアロ探偵役として挑戦（『シネマ41』未掲載）！そして、「夢をもう一度！」とばかりに、今回本作に挑んだわけだ。

しかし、本作冒頭は、第1次世界大戦の塹壕戦のシークエンスだから、アレレ……。なぜ、冒頭にこんなストーリーを登場させたの？それは、ポアロ探偵の代名詞にもなっている口髭“誕生秘話”にこだわったためだ。なるほど、なるほど。もっとも、このストーリーは口髭“誕生秘話”だけではなく、恋人との恋の成否を含む、彼の人間観にも通じるストーリーなので、しっかり鑑賞し、分析したい。

◆ナイル川といえば、エジプト。エジプトといえば、ピラミッド、スフィンクス、そして女王クレオパトラだ。しかして、本作ではピラミッド、スフィンクス等を登場させる美しい風景が見モノなら、2人の美女が胸を強調した美しいドレス姿で踊るダンスも見モノだ。ジャズシンガーの歌の素晴らしさにも注目だが、それ以上にSEXの体位を連想させるような、2人の美女のダンスに注目！

ストーリー上では、花婿のサイモン（アーミー・ハマー）が美しい新妻ジャクリーン（エマ・マッキー）と共に結婚披露パーティーに臨み、エロティックなダンスを披露するが、そこに大富豪の娘リネット（ガル・ガドット）が登場し、サイモンと踊りはじめると・・・？こりゃ何かヤバいことが起こりそう・・・。

◆冒頭のストーリーに登場した第1次世界大戦中のポアロは若かったが、その彼も今や世界一の名探偵に！サイモンは今、花嫁をジャクリーンからリネットに乗り換えたうえで、親しい友人たちと共にナイル川下りの新婚旅行に赴こうとしていたが、なぜそこにポアロの姿が？

ポアロが乗船していたのはリネットの依頼によるものらしいが、それは一体なぜ？それは、復讐に燃えるジャクリーンが、ストーカー的に2人の後を付け回しているためだが、大富豪のリネットにはそれ以外の財産管理を巡る多くの悩みもあったらしい。それらはストーリーが展開していく中で、ボチボチと・・・。

◆「〇〇殺人事件」と題されるミステリー小説は、最初に「〇〇殺人」が提示され、その解決のために名探偵が登場するのが常。ところが、本作は『ナイル殺人事件』というタイトルにもかかわらず、スクリーン上にはナイル川下りの新婚旅行の姿が次々と登場するばかりで、一向に殺人事件が起こらないからアレ・・・。一体誰が死亡するの？そして、それはいつ、どういうタイミングで？

そう思っていると、開演から約90分過ぎた頃、船内で「キャー！」という悲鳴が！その直前にはストーカー然としたジャクリーンが、リネットとサイモン、そして、ポアロの前に登場していたから、凶事は間近！！と思わせたが、さあ、殺されたのは一体誰？

◆本作のチラシには、「大富豪の美しき娘 略奪愛の行方 容疑者は乗客全員 一愛の数だけ、秘密がある。」と書かれている。また、「多くの事件を解決してきたが ーこれは私の人生を変えた」というポアロの言葉が載っている。その実態は、本作後半をじっくり鑑賞する中でしっかり楽しみたい。

なるほど、これなら「愛と嫉妬と欲望が絡み合うー 極上のミステリー・クルーズへ。」という、本作の謳い文句にも納得！

2022（令和4）年3月7日記